

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月3日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
		<<構造>>	
65	A-19	断熱材について 断熱材の密度、熱伝導率表記が無く価格が大きく相違する為、各断熱材の範囲をご指定下さい。 屋根：硬質ウレタンフォームt10の範囲 屋根：フェノールフォーム1種t60の範囲 外壁下：グラスウール24kg t45の範囲 外壁上：グラスウール24kg t90の範囲 床断熱材：グラスウール24kg t60の範囲	屋根：硬質ウレタンフォームt10の範囲 →A20.21図の通り（銅板（一文字葺）1、銅板（銅板葺）2の範囲） 屋根：フェノールフォーム1種t60の範囲 →A20.21図の通り（全ての屋根の範囲） 外壁下：グラスウール24kg t45の範囲 →以下の通り訂正します。範囲は、金属パネルの範囲が該当。 訂正前）t45 訂正後）t90 外壁上：グラスウール24kg t90の範囲 →A20.21図の通り（白漆喰仕上げの範囲） 床断熱材：グラスウール24kg t60の範囲 →参考図を添付します。
66		内部造作杉材について 内部造作杉材は基本的に桧の源平してよろしいでしょうか。	よろしい。ただし、設置の際には、色合いに著しいばらつきがないように配慮してください。
67		木の産地について 産地の指定は無いものと考えてよろしいでしょうか。	国産材を基本とします。
68		原寸図作成について 原寸図作成は不要と考えてよろしいでしょうか。	工事契約後に必要となります。必要箇所を施工者にて検討のうえ作成ください。
69		材木検査について 製材所現地にて、材木検査が必要でしょうか	必要です。
70	A-30	床下地普通合板について 床下地普通合板t9の表記ありますが、構造用合板t9、7mm合板t1t9のどちらでしょうか。	構造用合板t9です。
71	A-31	下屋銅板屋根-2の根化粧垂木について 下屋銅板屋根-2の根化粧垂木が45x60と45x55の2種類存在しています。45x60で統一してもよろしいでしょうか。	宜しいです。
72	A-31	化粧軒天井板t9の杉赤身について 各所7インチ見え掛かりをW120としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
73		各所軒先軒反りについて 軒先軒反りがあればご指示ください。 ・母屋瓦屋根 ・母屋銅板屋根-2 ・北エントランス銅板屋根-1 ・中央エントランス屋根 ・御車寄	南側縁側上部および、重要度復元エリアの金属屋根の出角5箇所には、軒反をお見込みください。
74	A-23, 24 A-31, S32	木小舞の丁数について A-23, 24軒天井見上げ図とA-31断面詳細図、S-32の木小舞の丁数が違っております。 A-23, 24軒天井見上げ図を正としてよろしいでしょうか。	A31を正としてください。
75		同上桁上面戸板について 同上桁上面戸板は意匠図ではt45、構造図ではt90です。 意匠図を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
76	A-20.21	西側X31～X32の下屋の付け桁について 西側X31～X32の下屋の付け桁は60x150ですが、持ち出し部は付け柱が130の為、W135xH150としてよろしいでしょうか。	現場協議とします。
77		破風板について 西側X31～X32の破風板として55x145を見込む事でよろしいでしょうか。	30×91でお見込みください。
78		化粧垂木他について 西側X31～X32の化粧垂木を45x60、広小舞を90x30、淀を55x120、化粧軒天井板7インチt9横貼り、働き巾120、野地合板t12-2重貼り、木小舞を24x21と考えてよろしいでしょうか。 また、差し棟木を120x150、垂木掛けを45x100と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
79		差し母屋について 西側X31～X32の差し母屋は120x150、垂木掛けは45x100でよろしいでしょうか。	発注図の通りでお見込みください。
80		霧除け（七五庇）絵ぶり板について 北側Y21, X1, X10'の霧除け（七五庇）絵ぶり板t30のH, Lの寸法が不明です。 ご指示ください。	A 32図を参照ください。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月3日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
81		出隅化粧隅木取り合い雇材について 母屋上屋の付け桁は60x100の表記がありますが、 出隅化粧隅木取り合い雇材は110x100を見込む事でよろしいでしょうか。 それとも留め加工納めでよろしいでしょうか。	ご指摘の箇所が不明です。発注図の通りでお見込みいただきご不明点については、現場協議とします。
82		段差について X31.Y1～Y6縁桁120x270とY6～Y13母屋付け桁60x100で 段差ができますが、このままでよろしいでしょうか。	現場協議とします。
83	A-23.24 A-29～30 S-32	寸法及び丁数について 意匠図と構造図で寸法及び丁数が違うところあります。 意匠図を正としてよろしいでしょうか。	構造上主要な部位については、構造図を正とし、非構造部材については意匠図を正としてください。
84	A-30. S-32	銅板屋根と瓦屋根立ち上がり部について 意匠図は化粧垂木が貫通しておりますが、 構造図は、105x240の枕梁を下屋の垂木上に施して納めております 構造図を正としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
85	A-30. S-32	軒先及び、木小舞等について 軒先及び、木小舞等は意匠図を正としてよろしいでしょうか。	No83の回答のとおり、非構造部材は意匠図正で宜しいです。
86	A-30. S-32	軒先及び、木小舞等の立ち上がりについて 上記立ち上がりは、杉一等材下地銅板包みと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
87	A-30. S-32	納まりについて A-31とS-32でタイプCの納まりが違います。 構造図S-32を正としてよろしいでしょうか。 また、立ち上がりは銅板包みと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。ただし段差部は、A31通り瓦小口のみとし最小の段差となるように瓦屋根の垂木下端の形状の調整が必要になります。 立ち上がりは、瓦小口としてください。
88	A-30. S-32	軒先及び、木小舞等の底板板金下地杉板について 底板板金下地杉板はt9としてよろしいでしょうか。	A-30を参照ください。
89	A-23.24 A-19～21 A-32	中央エントランス一子独立屋根について 中央エントランス一子独立屋根の断面詳細図がありませんが、 北エントランス同様の納まりとし、材種は桧でよろしいでしょうか。 化粧垂木:45x90 455@ 面戸板:45x98.4 鼻隠し、破風板:30x210 野垂木:45x90 通気垂木:45x30 野地板:耐水合板t12 棟抑え:120x45 化粧束:105x105 E90同等 繋ぎ梁:120x180板虹梁仕様 E90同等	質疑回答No.15より 化粧垂木W55×H60 鼻隠し、破風板はA32図より30×135 上記以外については、図面の通りでお見込みください。
90	A-32	中央エントランス一子独立屋根の鼻隠し裏通気について 鼻隠し裏通気は、棟換気として水下のみとし、 登りは無しと考えてよろしいでしょうか。	鼻隠裏から外気を取り込み、通気層を登って、換気棟から排出。という気流ルートを想定しています。
91	A-32	基礎内側の巾木、土台見切りについて 基礎内側の巾木、土台見切りは、抹消してありますが、 今回別途と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
92	S-29.31	垂木の成について 軒詳細図が有り、軒の出、片持ち出しがかなりありますが、 垂木の成が小さいと思われず。 見積りは図面通りと致しますが、よろしいでしょうか。	宜しいです。（部材断面の変更については現場協議とします。）
93	S-30	柱目表記について その他化粧材柱、桁梁は芯持ちとなり背割り有りとなりますが、 よろしいでしょうか。	現し材については、原則として背割りなし、で計画していますが、 背割りを追加する場合は、現場協議とします。
94	A-19.29 S-28	縁下格子について 意匠図ではX21～X31縁下格子が断面図基礎に立ち上がっておりますが、 立面図、断面図、構造図には縁下格子がありません。 縁下格子は必要と考えてよろしいでしょうか。	必要です。
95		床下格子について X25.Y13～Y18立面図に床下格子の表記ありません。 必要と考えてよろしいでしょうか。	不要です。
96	A-19.21 29	窓格子について A-29の多機能トイレ窓格子が削除されておりますが、 WC2.売店キッチン、倉庫1.2.3も別途と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
97	A-32.33	基礎巾木見切り材について エントランス部屋内側の土台取り合いの基礎巾木見切り材は 今回別途と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
98	A-58	欄干について 御座所、御次の間縁側の欄干は今回別途と考えてよろしいでしょうか。	A31の通り、欄干は今回工事対象外です。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月3日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
99	A-29_30	表記について 床下地内訳書の表記と意匠図の表記に相違があります。 意匠図を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
100	A-51	欄間格子について WRGLの欄間格子が内訳書に表記がありません。 別途は考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
		<<外構>>	
101		復旧について I期工事完了後に、一部仮囲いの内側にある芝生や砂利やASは、 復旧するでよろしいでしょうか。	別途協議とします。
		<<その他>>	
102		残置物について 新宿御苑日本館御殿工事の跡地のフェンスの内側に、 残置物がありますが、 ないものとして見積りすることでよろしいでしょうか。	宜しいです。
103	K-01 現場説明書	管理門～工事エリアの車両動線の通行時間に制約があるようでしたら ご教示ください。	作業時間内であれば問題ありません。
104	K-01 現場説明書	管理門～工事エリアまでの間、車両が通行する際、誘導員による誘導 が必須でしょうか。ご教示ください。	誘導員は必要で、別途協議とします。
105	K-01 現場説明書	工事用道路の経路（正門～プラタナス並木～外周路～現場）の園路養生 の制約に記載がある大型車両とは何トン以上のことを指すのかご教 示ください。	4t以上のことです。
106	K-01 現場説明書	工事用道路の経路（正門～プラタナス並木～外周路～現場）の園路養生 とは、どのようなものを想定されているのかご教示ください。	プラタナス並木の玉砂利は車輪圧により食い込むため、通路幅につ いて事前に掃き除き工事後の掃き戻しを要します。
107	K-01 現場説明書	25tラフターは、高さ方向を除けば4t車両とサイズは同等です。25t ラフターを管理門から入退場させることは可能でしょうか。	25tラフターは正門からの入退場を基本とします。
108	K-01	仮囲いや足場の転倒防止のための控えの単管杭を、芝面、園路に打て ると考えてよろしいでしょうか。	玉藻池の芝生地内の玉砂利道には樹脂製のハニカム構造が施されて おり単管杭の打ち込みはできません。景観対象となる芝生地は監督 職員と協議のうえ必要最小限で打ち込み可能です。
109	K-01	計画地における、既存埋設配管の位置と深さのわかる図面のご提供を お願いいたします。	今回添付する参考図をご確認ください。深さについては後日別途と する。
110	K-01	現状設置してあるネットフェンス、及び内側の黒シート、資材の撤去は別 途と考えますが、よろしいでしょうか。	宜しいです。
111	K-01	大木戸門から入って左手側にあるトイレを、工事関係者も使用してい ただけると、考えてよろしいでしょうか。	仮設工事の期間は宜しいです。
112	K-01	工事用仮設電気設備はどこから引き込めば良いか教示下さい。また 引き込み電気容量に制限があるかご教示ください。	今回添付する参考図をご確認ください。大木戸駐車場変電所から余 剰埋設管による電源ケーブルを引き込みます。
113	K-01	工事用仮設給水はどこから引き込めば良いかご教示ください。また 給水管サイズをお教えください。	今回添付する参考図をご確認ください。立水栓があります。
114	K-01	工事用仮設排水は、どこに流したらよいでしょうか。またその配管 の管底レベルをご教示ください。	今回添付する参考図をご確認ください。立水栓付近に汚水マンホ ルがありますので、使用させていただきます。
115	S-01	4地業工事 地盤改良工法の記載のSa-01図の提示をお願いいたしま す。	地盤改良はございません。
116	S-01	4地業工事 地盤の載荷試験の特記記載がありません。質疑No19地盤 調査に基づき、地山が出ることを確認で載荷試験は不要という解釈で よろしいでしょうか。載荷試験が必要であれば、位置と載荷荷重をご 教示ください。	宜しいです。現場にて協議とします。
117	S-01 A-01 A-29 A-31	S-01図4地業工事 再生クワッチャン砂利厚さ60mm A-01_3-2地業工事 構造図S-01による A-29では再生クワッチャンH60 A-31では再生クワッチャンH100と記載されていま す。構造図の砂利厚さ60mmを正としてよろしいでしょうか	砕石砂利（再生クワッチャラン）t100mm でお見込みください。
118	S-01 内訳書	内訳書に高炉メントB種に記載がありますが、構造図の6コンクリート 工事 セメント種類 適用箇所の記載ありません。普通ポルトランド メントを使用出来ると考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月3日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
119	S-01	6. コンクリート工事 構造体コンクリートの仕上り適用箇所の記載がありません。C種と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
120	S-02	3. 地盤調査資料 今回工事に含まれる地盤調査については構造図を参照とあります。該当資料の提示をお願いいたします。	今回工事に地盤調査は含みません。
121	S-08	4. 木造工事1防腐防蟻処理につきまして、引渡し後の保証期間は設定されていないという認識でよろしいでしょうか。	10年以上をお見込みください。
122	A-01	3-1土工事埋戻しB種とあります。現地の土にガラなどが含まれていた場合には、搬出し、別途購入と考えてよろしいでしょうか。	現場にて協議とします。
123	A-01 A-05	10木工事 木材の耐候性処理について18塗装工事の木材保護塗料塗について木部外部のWP同等品として記載されている商品はメーカーHPによると透明仕様がありません。塗膜を形成しない有機溶剤系の木材保護塗装仕様で考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
124	A-01 A-05	10木工事 木材の耐候性処理について18塗装工事の木材保護塗料塗について木部内部のWP同等品として記載されている商品はメーカーHPによると3分つや仕様です。塗膜を形成しない有機溶剤系の木材保護塗装仕様で考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
125	A-02	13タイル工事 取り消し線がついていますが、内訳書にはエントランスポーチ部に9.4m入っています。図面を正として対象工事なしと考えてよろしいでしょうか。	誤記です。ポーチ2の範囲は含みます。
126	A-03	16左官工事 塗材、漆喰調塗装、砂壁に○がついていますが、内訳に入っていない。図中にも図中各所に漆喰塗は対象外との表記があります。対象箇所はないと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。 (塗材、漆喰調塗装、砂壁は本工事に含みません。)
127	A-03 A-50	17建具工事 網戸等に○がついています。A-50図中アルミ建具はすべて今回工事に含むとの記載がありますが、内訳に記載がありません。網戸は対象外と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
128	A-10	11その他 雨水流入管と屋上緑化に建築工事○がついていますが、対象部位が不明です。対象外と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。回答No4も参考にしてください。
129	A-12	工事エリア内もしくは近傍で、レベル基準（ベンチマーク）をご指示ください。現況図で測定されたポイントが現地に無く、新宿御苑外の東京都の水準点から追いつく必要があるようでしたらそのようにご指示ください。	施工者確定後に追加資料として提供いたします。
130	A-12	建物配置の基準（XY方向の追い出し寸法）をご指示ください。X27/Y1の工程とX31/Y1の交点を結んだラインが基準となると推察致しますが、それをどこから追い出しているのか読み取れませんでした。基点の引照点の記録などがあればご提供ください。	施工者確定後に追加資料として提供いたします。
131	A-12 A-17 A-19	レベルはA-17の1FL=TP32.7、700下がりがGLなので設計GL=TP32.0を正としてよろしいでしょうか。A-12現況図で既存建物解体後の平均GLは32.10と記載がありましたので、念の為の確認になります。	宜しいです。
132	内訳書 S-14	東石の数 S14 コンクリートの東石（上辺120*120）の数が図面と内訳に相違があります。図面245か所と内訳書237か所と相違があります。S14を正としますかよろしいでしょうか	図面に記載されている数を正としてお見込みください。
133	S-14 S-33 A-57	戸袋1.2.4の下の東石S-14、S-33にC7 コンクリート東石と記載があります。A-57では自然石らしき形状をしていますが、仕様の記載は有りません。構造図を正としますがよろしいでしょうか。 ※内訳書の内訳も構造図より拾われたと思われま。	宜しいです。
134	S-33 A-31 内訳書	礎石のサイズと仕様と固定方法に相違があります。 S-14 150*150*h300以下 安山岩 東石下モルタル 内訳書 同上 同上 同上 A-31 300*300*300程度 御影石 RC一体化 A-31 300*300*300程度 御影石 RC一体化 内訳書、構造図S-14を正とします。仕様変更生じた場合には、として施工中の協議事項とさせていただきますよろしいでしょうか。	S-14、S-33の通りで宜しいです。
135	S-14	基礎伏せ図に設備スリーブの記載ありません。耐圧盤、基礎立上に設備配管に設備スリーブは不要で開口補強も不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は具体的なご指示をお願いいたします。	質疑3の回答に添付した参考図を参照願います。
136	AL-02	配管トレンチの通路横断部分のU字溝化蓋と記載されていますが、既製品が見つかりません。U字溝蓋1種と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
137	S-14	下部設備トレンチ、配置詳細は設備図によるとあります。設備図の提供をお願いいたします。頂ける設備図は、周囲の雨水排水レベル、設備埋設配線配管レベルと整合が取れていますでしょうか。	設計時に、整合性は確認しておりますが、施工する上で詳細寸法の調整が必要であれば現場協議とします。
138	AL-02 S-14	ハトゴヤの耐圧ベル、AL-02はGL-1000 S-14はGL-1500、AL-02を正とし、設計GL-1000と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月3日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案
139	AL-02	共通事項に記載されている、溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装とする鋼製部材とは何を際しているのかご教示ください。	点検扉及び枠材が該当します。
140	A-21、 A-43から 内訳書	図面各所に木製建具は対象外と記載があります。内訳書の木材保護塗装の項目に、木製建具面698㎡の記載がありますが、対象外と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。